

教科名 (科目名)	理科 化学	履修学年	3 年	学科	普通・フロンティア 科
単位数 (週当たりの授業時数)				4	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	・化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	・化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	○定期考査・単元テスト ○レポート・課題 ○話し合い・発表・振り返り	○定期考査・単元テスト ○レポート・課題 ○話し合い・発表・振り返り	○レポート・課題 ○話し合い・発表

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】	化学Vol.2物質編 (東京書籍)
【副教材】	セミナー化学基礎+化学 (第一学習社) ニューステージ化学図表 (浜島書店) 新訂版リピートノート④⑤ (浜島書店)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書の内容を、授業プリントを用いて進めます。できれば教科書を読み簡単に予習をします。さらに、授業中の演習や問題集を用いて演習をしていきます。授業中に大事なところをさらに調べたりすると理解が深まります。  
○生徒実験を実施します。教科書の内容を実際に確認したり、実際に器具を操作することで理解が深まります。また実験報告の基本的な書き方を学習します。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	・4編 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認 ・5編 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物	単元テスト	単元テスト	レポート・課題 話し合い・発表
	5月		単元テスト	単元テスト	
			単元テスト	単元テスト	
			単元テスト	単元テスト	
6月	期末テスト		期末テスト		
7月	単元テスト	単元テスト			
	実験レポート	実験レポート			
2 学 期	8月	・6編 1章 高分子化合物とは何か 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物  総復習 共通テスト対策	単元テスト	単元テスト	レポート・課題 話し合い・発表
	9月		単元テスト	単元テスト	
			単元テスト	単元テスト	
			単元テスト	単元テスト	
	10月		単元テスト	単元テスト	
11月	期末テスト	期末テスト			
12月	実験レポート	実験レポート			
3 学 期	1月	総復習 共通テスト対策 大学個別試験対策			
	2月				
	3月				